

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年6月12日）

1 主な報告等

(1) 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく取組の実施状況について

委員から、掲げた目標の達成にしっかりと取り組んでほしい。育児休暇取得率は年々向上しているが、現実的には十分に足りていないのではないかと思う。民間企業では、家事の負担を減らす方向にチャンネルを合わせている。例えば、保育所と契約して入所枠を確保する、社員食堂に夕飯を注文して持ち帰るだけにするなど、いかに働いている女性の負担を減らすかということを考えている。看護職でも、小さい頃は親がいなくて寂しいと感じた子供が、親の背中を見て育ち、将来は看護師になるケースも多い。子育てしながら仕事をできるように支援することは非常に重要である。休みを取得させればよいという考え方ではなく、今後は一緒に働いていくうというモードに切り換えてほしい。また、女性が活躍できるよう、勤務環境の整備、人事異動、昇任・昇給制度についても検討してほしい旨の発言があった。

(2) 令和7年度九州管区内部内通訳人協議会（中国語）の実施について

委員から、このような競技会が初めて開催されたことは、非常に興味深い。勝ち進んで行くにつれて想定事案が難しくなる中で、通訳歴1年の県警の警察官が準優勝したことは、大変素晴らしい。国際人材の育成を強化している中で、職員のモチベーションを高めるためにも、語学習得者のキャリアパスを考慮した人事配置をしてほしい旨の発言があった。

(3) 「沖縄国際海洋博覧会50周年記念事業企画展 海ーその望ましい未来御覧、併せて地方事情御視察」のための天皇皇后両陛下並びに愛子内親王殿下の行幸啓に伴う警衛警備の実施結果について

委員から、今回の行幸啓の警衛警備は大変厳しかったことと思う。全日程がつづがなく終了したことに、公安委員会としてもほっとしている。全国から応援派遣された職員にも感謝したい。自己紹介をしてから奉迎者に諸注意をお願いをするなど、優しくソフトに対応していたことに好印象を覚えた。また、白バイも有効に活用したと聞いている。警察の仕事紹介にもつながったものと思う。引き続き慰霊の日における警護も頑張ってもらいたい旨の発言があった。

(4) その他

警察本部から、今回の警衛警備は、想定を上回る多数の歓送迎者が迎える状況にあったが、無事に完遂することができた。皇宮警察、県外の都道府県警察及び沖縄県警が一体となって警察の総力を結集して取り組んだことはもちろんのこと、県庁職員やボランティアの方々の協力、県民の皆様にも手荷物検査や交通規制に理解・協力をいただいたおかげで円滑に進めることができたものと考えている。戦後80年沖縄全戦没者追悼式の警護警備では、今回とは違う難しさがあるが、気を引き締めて

万全を期していきたい旨発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会関係報告
- ・ 裁決書の事前説明について（2件）

(2) 生活安全部

- ・ 飲食店営業者に対する行政処分（営業停止）について

(3) 刑事部

- ・ 逮捕状を請求することのできる司法警察員の指定について

(4) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について
- ・ 弁明書の作成について
- ・ 審査請求に係る職権取消しについて

(5) 警備部

- ・ 沖縄県公安委員会における重要経済安保情報の保護に関する規程の制定について
- ・ 警察職員の援助要求について